

3年部の取組 ～高校入試に向けて～



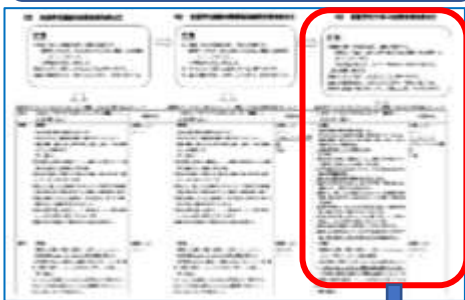
今回はまず、高校入試に向けた3年部の取組を紹介します。左の写真は面接の練習を行っている様子です。この日もとても寒かったのですが、ホールに面接会場をつくり練習を行っています。この写真では面接官として写っている3年部の先生は3名ですが、各学級2名体制で行っているのではないのでしょうか。3年生にとっては人生の1つの大きな試練の場です。とても近づいて写真など撮れず、でもみなさんに見ていただきたいと思い、遠くから写真を撮らせていただきました。

志願理由書の書き方指導や、願書の提出に至るまでの取組や指導など、学年部で本当に細やかに打ち合わせがされているのだと思うせられることばかりです。3年部の先生方、ありがとうございます。3年生のみなさんが希望の学校に合格できるよう、私も面接練習に尽力させていただきます。

英語科のリベンジ！

授業改善&学力の向上・定着の取組

県版学力調査で明らかとなった課題に対する各教科の取組



ある日の教科会レジュメの一部

3. 取り組みの確認

英語科で決めた取り組み

| 個人 | 廣瀬 | 白木 | 浦田 | 黒田 | 松本 |
|--------------------------|----|----|----|----|----|
| ①授業の始めに英語を使って話す場面を位置付ける。 | | | | | |
| ②生徒の発話量を増やす。 | | | | | |
| ③中間指導で正確性にも指導を入れる。 | | | | | |
| ④苦手な生徒にも分かるよう板書を工夫する。 | | | | | |
| ⑤オールイングリッシュを心掛ける。 | | | | | |

単元計画

| | 1年 | 2年 | 3年 |
|-----------------------------------|----|----|----|
| ①適切な目的場面状況の設定を行う。 | | | |
| ②込んだことや聞いたことについて話したり書いたりする場面を仕組む。 | | | |

次の教科会までに特に力を入れて取り組むこと→ ()

英語科では、県版調査後に決めた授業における今後の取組を、**毎週の教科会で振り返る**取組を始めています。右の図はある日の教科会レジュメの一部です。

教科長の廣瀬先生が、**自分たちが決めた取組を意識する**ようにしてくれています。

全国（標準）学力調査までの取組
～扱う練習問題の共有の工夫及び
確実な実施と見通しの工夫～



前回の主幹だよりで、各教科、全国（あるいは標準）学力調査）までのスケジュールを修正して取組を始めていることをお伝えしました。

これは廣瀬先生の机の横に貼られているものです。左の封筒には、宿題やステップで使ったプリントを入れています。浦田先生の机の横にもあります。1・2年生の宿題やステップの内容が紙ベースで**いつでも英語科で把握できるように**しています。

右の全国（標準）学力調査までのスケジュールでは、実施したものをマーカーで色を付け、**確実な実施と今後の見通しの確認**を行っています。次の教科会では**小テストの結果を共有し、授業で気を付けることを確認**する計画がレジュメに書かれてありました。

英語科では、自分たちが決めた取組の確実な実施と振り返りを繰り返す(小さなPDCAを繰り返し回す)ことで授業改善と学力の向上・定着を図ります！

